



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月15日

上場会社名 株式会社インフォネット

上場取引所 東

コード番号 4444 URL <https://www.e-infonet.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岸本 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 日下部 拓也

TEL 03-5221-7591

四半期報告書提出予定日 2021年2月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	600	—	△5	—	△3	—	△3	—
2020年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益 2021年3月期第3四半期 △3百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△2.03	—
2020年3月期第3四半期	—	—

(注)1. 2021年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2021年3月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,165	833	71.6
2020年3月期	—	—	—

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 833百万円 2020年3月期 —百万円

(注)2021年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,013	—	132	—	134	—	83	—	43.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)2021年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	1,951,475 株	2020年3月期	1,927,500 株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	— 株	2020年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	1,951,475 株	2020年3月期3Q	1,834,773 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 第1四半期連結会計期間において、当社は、スプレッドシステムズ株式会社の株式を取得し同社を子会社化しました。
これに伴い、2021年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	4
第3四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の蔓延による社会・経済活動の急速な停滞の影響から非常に厳しい状況となりました。緊急事態宣言が解除されたことに伴い、輸出、消費が回復し、景気動向に持ち直しの動きが見られたものの、緊急事態宣言によって経済活動が極度に委縮していたところからの一時的なりバウンドに過ぎず、先行きについては引き続き不透明な状況となっております。

当社グループの事業領域である情報サービス産業を取り巻く環境については、企業収益の改善を受けて、特に大手企業のIT投資が引き続き増加基調にあり、当社グループの属する国内CMS市場においてもWEBサイトの重要性が増してきていることや、コロナ禍に伴う企業活動の変化に対応すべくWEBマーケティングについても興味関心をもたれる企業が増加してきております。

このような事業環境の中、当社グループは自社開発のWEBサイトコンテンツ管理システム「infoCMS」を活用したWEBサイト構築および構築後のサーバー・システム運用保守などのアフターサポートまでを一貫したWEB受託開発・ASPサービスを主事業として、その他クラウドホスティングサービス、WEB広告サービス、WEBシステム開発サービス、カタログ・パンフレットデザインサービスなど、企業の広報マーケティング支援を目的とした事業展開を行っております。さらに、WEBサイト構築のサービス領域の拡大と当社グループの事業領域の拡大を視野に周辺パッケージ商品として人工知能搭載型チャットボットシステム「Q&Ai」の販売を開始し、WEBサイトに紐づく様々な課題解決の幅を広げております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は600,102千円、営業損失は5,634千円、経常損失は3,438千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は3,954千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,165,017千円となりました。流動資産は1,021,099千円となり、主な内訳は、現金及び預金810,949千円であります。固定資産は143,917千円となり、主な内訳は、有形固定資産68,769千円、のれん20,346千円であります。流動負債は234,386千円となり、主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金96,216千円であります。固定負債は96,804千円となり、主な内訳は、長期借入金61,122千円、退職給付に係る負債28,083千円であります。純資産は833,826千円となり、主な内訳は、資本金265,476千円、資本剰余金245,476千円、利益剰余金322,872千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、2020年8月12日に公表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	810,949
受取手形及び売掛金	97,205
仕掛品	84,423
その他	28,520
流動資産合計	1,021,099
固定資産	
有形固定資産	68,769
無形固定資産	
のれん	20,346
その他	1,399
無形固定資産合計	21,746
投資その他の資産	53,401
固定資産合計	143,917
資産合計	1,165,017
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	3,662
1年内返済予定の長期借入金	96,216
受注損失引当金	15,911
その他	118,596
流動負債合計	234,386
固定負債	
長期借入金	61,122
役員退職慰労引当金	6,312
退職給付に係る負債	28,083
その他	1,286
固定負債合計	96,804
負債合計	331,190
純資産の部	
株主資本	
資本金	265,476
資本剰余金	245,476
利益剰余金	322,872
株主資本合計	833,826
純資産合計	833,826
負債純資産合計	1,165,017

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

	(単位：千円)
	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	600,102
売上原価	314,779
売上総利益	285,323
販売費及び一般管理費	290,957
営業損失(△)	△5,634
営業外収益	
受取利息	3
助成金収入	2,000
その他	544
営業外収益合計	2,548
営業外費用	
支払利息	351
営業外費用合計	351
経常損失(△)	△3,438
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,438
法人税等	516
四半期純損失(△)	△3,954
(内訳)	
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,954
その他の包括利益	-
四半期包括利益	△3,954
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,954
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。